

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Woody 1 放課後等デイサービス			公表日		2025年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		子どもたちが安全に楽しく過ごせる様、活動する部屋を分ける等の配慮をしています。	法令に則ったスペースを確保しています。イベント等によっては人数が多くなるので、活動する部屋を分けて対応しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		配置数が適切になる様、勤務状況に応じて考えて配置しています。	適切な配置を行うようにしていますが、送迎等で職員が少なくなる場合もあるので、送迎ルートや配車の工夫をするなどして対応していきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			未回答1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		環境には常に配慮し、過ごしやすい空間になる様心がけています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンが必要な時は、個室やブレイルーム、図書室などを使用しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		日頃の支援の振り返りをし改善につながる様、話し合いの場を設けています。	* 未回答1 定期的なミーティングの機会以外にも話し合いの場を設け、情報共有を密にしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		定期的に実施して業務改善につなげています。	未回答1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		意見交換の場を設け、常に情報共有をしながら業務改善につなげています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1		* 未回答3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		定期的に法人内外での研修の機会があり、参加しています。	今後も内部研修の実施・外部研修受講の機会を積極的に設け、職員の資質向上につなげていきます。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		職員での会議を経て支援プログラムを作成をし、ホームページにて公表をしています。	* 未回答1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		利用に際し、子どもの状況・課題・保護者のニーズ等を把握し、それをもとに計画を作成しています。	* 未回答1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		支援計画作成の際は職員での会議を経て情報を共有し、最適な目標設定を心掛けています。	* 未回答1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			* 未回答1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		* 未回答1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		具体的な支援内容を設定し、職員間で共有しています。	未回答1 地域への移行が難しい児童も多い為、関係機関との連携を図り、		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		子どもたちが楽しみながら様々な体験が出来るように職員で考えて活動プログラムを作っています。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		活動プログラムの立案をスタッフが交代で行うことで固定化しないようにしている。	今後も様々な活動を通じて、子どもたちが充実した放課後を過ごせる様、活動内容を工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団の中で活動することを目標としているが、集団への移行準備として、個別でのかわりもしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎朝必ず打ち合わせをして情報共有をしてから支援をしている。	その日の職員で子どもたちの状況を必ず話し合い、必要な支援の内容・職員の役割分担を正確に把握してから支援に入る様にしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		その日の気づき等を職員同士で出し合い、次の支援につなげていけるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		業務日誌やケース記録に日々気づいた点や変化した状況などを記録し、振り返りを行っている。	*未回答1
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的なモニタリングを実施し、保護者と児童の現状把握・振り返りを行ったうえで見直しを行っています。	*未回答1 おむね6ヶ月に1度、児童発達支援管理責任者が支援計画の見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			*未回答1
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		会議には必ず児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。	*未回答1 状況によっては児発管が参加出来ない場合もあるため、その際は事前に打ち合わせをして日頃支援に入っている職員が代わりに参加するようにしています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		関係機関とは必要に応じて連携を取れるようにしており、そこから支援につなげていける様体制を整えている。	*未回答2
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2		学校及び関係機関との連携強化を行っています。	*未回答3
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2			*未回答3 連携がなかなか難しい場合が多い。今後必要に応じて情報共有・相互理解に努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1		必要に応じて通所していた際の支援内容等の情報を提供し、スムーズに移行できるよう努めています。	*未回答4
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	助言をして頂いたことを業務改善につなげていきます。	*未回答2 必要な研修に積極的に参加をし、一層の連携を図りながらより充実した支援が出来るように取り組んでいきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3			*未回答2 今後必要に応じて交流する機会を設けます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3			*未回答2
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時に保護者とお会いした際、その日の様子や気づき等をお伝えするようにしています。	*未回答1 送迎時お会いできなかったり、伝える事が出来なかった場合は別途お電話等でお伝えするようにしています。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			*未回答1 現状保護者に対して実践が出来ていないため、今後の実施に向けて取り組んでいます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に丁寧に説明することを心掛けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			*未回答1

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		その都度保護者とお話して、悩み等に対する相談に適切に対応しています。	未回答1 適切な対応を心掛け、それを支援にも繋げていける様取り組んでいます。その場で対応できない際は一旦話を持ち帰り、後日対応できるようにしています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		保護者会を開催し、保護者同士の情報提供・連携ができる場を設けています。	* 未回答3 今後も定期的に保護者同士が情報を共有し、連携を取っていただけるように保護者回答を開催していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情や申し入れに対しては迅速かつ適切に対応をするよう心がけています。	苦情等あった場合社内でも共有し再発防止につなげます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HPやSNSに活動の様子を定期的に載せています。連絡事項等はLINE等も活用して、都度お知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。	個人情報の取り扱いについては十分注意するとともに、取り扱いに際してはその都度目的や内容等について保護者に確認をして了承を得た上で関係機関と連携をしております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		職員間で情報を共有し、状況に応じて対応しています。	今後も子どもや保護者に合わせて伝達方法を変える等の工夫をしたり、伝わる方法を考え実行していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	保護者参加の行事の際、近隣施設の方を招待したり、近隣住民に呼びかけ等を行っています。	今後も地域の中の事業所として可能な形で開かれた事業運営に努めます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルを策定し、職員全員が周知できるようにしています。	保護者に向けてマニュアル等の情報の周知を図ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的に非常災害を想定した避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		保護者からの聞き取りを行い、その情報を職員間で共有しています。	* 未回答2
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		必要な研修や訓練等は計画的に実施をし、支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			* 未回答1
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットの報告書を作成し、月1の職員会議で情報を共有しています。	今後も職員間での情報共有を徹底していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		積極的に職員の研修機会を設け、適切な対応をしています。	今後も積極的に内部研修を行ったり、外部の研修に職員が参加したりします。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識としています。行った場合は記録に残すことにしています。また、保護者にはそれらを契約書に記載し説明しています。対象児童がいる場合には組織的に決定し、支援計画に記載する体制があります。	